



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2005. 10 月号

秋期特別展

「大地をめぐる石の旅—海から山・そして海へ—」

会 期：平成17年10月8日（土）～11月20日（日）

会 場：平塚市博物館 特別展示室（入場無料）

休館日：毎週月曜日（10月10日は開館・11日は休館）

開館時間：9時～17時（但し金曜日は9時～19時）



今回の特別展では、相模川・金目川・酒匂川水系の石ころや砂粒のふるさとを紹介し、山から海に、そしてまた山に戻る、その長い旅路を展示し、川の流路変遷、地形の変化、大地の成り立ちについて解説します。相模川・金目川・酒匂川の河原石とその原石を石ころの本籍毎に配列し、湘南海岸や相模湾、日本各地の砂標本を顕微鏡写真付きで展示します。また、相模川の変遷や流域の地形を上空からの鳥瞰図で展示します。特別出品として、相模湾の深海底に生息するシロウリガイ標本を海洋研究開発機構から借用し陳列します。

■展示構成

I 海辺の石と河原の石・II 石ころの引っ越し—海から山、そして海へ・III 流域の地形・IV 流域の古地理・V 山から海への砂の旅・VI 日本の砂・世界の砂・VII 海の観測・浸食と対策

■特別展関連行事■

◇特別記念セミナー：「相模湾の誕生と丹沢の成立」（湘南地球科学の会との共催）

日時：10月22日（土） 13時30分～17時 参加自由

内容：①石ころのふるさとを探る 当館学芸員

②特別講演「相模湾の誕生物語」海洋研究開発機構 藤岡換太郎博士

③湘南地球科学の会講演会「丹沢の衝突と深成岩体」横浜国立大学教授 有馬 眞氏

④湘南地球科学の会講演会「三浦・大磯丘陵の地層形成と衝突付加」

神奈川県立生命の星地球博物館 平田大二氏

場所：平塚市博物館講堂（80人程度収容）

◇野外観察会：「石ころのふるさとを探る」

場所：山北町谷峨・酒匂川河原

日時：11月5日（土）9時～15時。

定員：30名。

申込：10月22日迄に氏名・住所・電話・

年齢を明記の上、往復葉書で博物館迄。多数の場合抽選。

◇連続講座：「相模川流域のなりたち」

日時：10月20日・27日・11月3日・8日・17日。毎回10時30分～12時

場所：博物館講堂

内容：相模川の誕生から川の変遷、流域の古地理、河原石と砂粒から見る流域の地質、平塚の平野の地形と地層などについて、5回に亘る連続講座。定員60名。

当館学芸員担当。

申込：10月8日迄に氏名・住所・電話・年齢を明記の上、往復葉書で博物館迄。

多数の場合抽選。

◇特別展展示解説

日時：10月8日（土）・11月13日（日） 13時～14時

場所：博物館特別展示室 当館学芸員担当。

秋期特別展

「大地をめぐる石の旅—海から山、そして海へ—」のみどころ

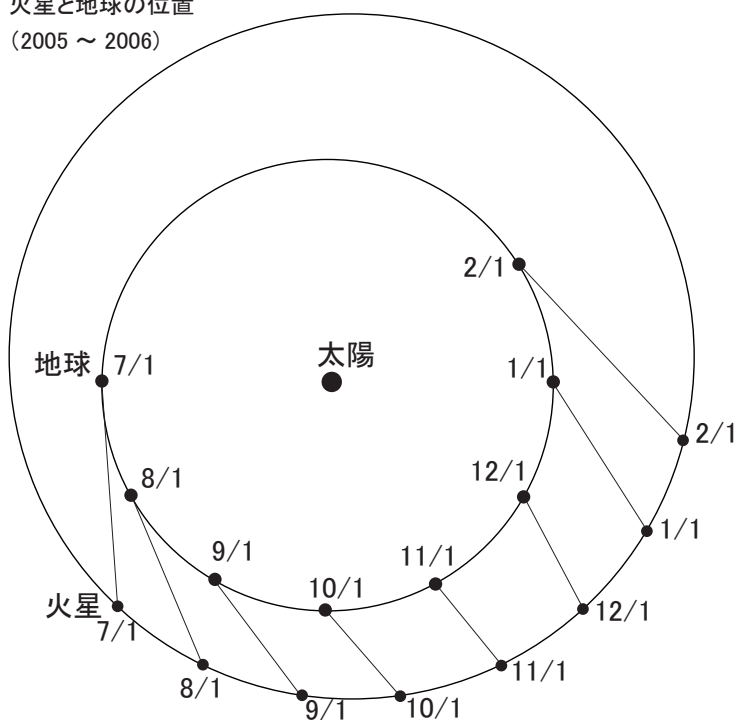
河原や海辺に見られる石ころはどこで生まれ、どのようにして引っ越して現在の地に来たのでしょうか。石ころ（礫）の種類を調べると、深海で堆積したもの、南海の海底火山で生まれたもの、地下20kmの深さで生まれたもの、熱でやけどしたものなど、その本籍をたどることが出来ます。そうした本籍を持つ岩石がプレート運動によって本州に付加されて隆起し、流域の山々に露出し、そこを流れる河川により浸食されて上流から下流に運ばれ河原に見られる礫となります。河原に転がっている何気ない礫にも、それぞれの本籍と引っ越しの歴史が隠されています。

砂はその石ころが上流から下流に運ばれる途中で細かく砕けたものです。この砂粒も、それぞれの流域の地質を反映して、河川毎に組成や色調が変わってきます。砂粒をよく見ると、石のかけらの他、岩石を作る鉱物の粒子、貝殻やウニなどの生物片などが混じっています。こうして上流から下流へ運ばれた砂は相模湾に達し、さらに深い海底へと運ばれていきます。そして、相模湾の海底で堆積した土砂は、また、本州に付加され大地となるのです。こうして礫や砂の旅は大地を果てしなく巡っています。

今回の特別展では、そうした石ころや砂のふるさとや、大地を巡る石の旅路を紹介します。ありふれた石ころや砂粒にも大地の歴史を紐解く鍵が隠されていることを読みとっていただければと思います。

火星再接近

火星と地球の位置
(2005 ~ 2006)



火星接近が再び起きます。おうし座・おひつじ座の境界で赤く輝く姿は、夜半の空高く、大変めだつ存在になるでしょう。

再接近は10月30日、距離は約6900万kmで、数万年ぶりと騒がれた前回と比べれば見劣りしますが、高くなるぶん観測可能時間が長く、また気流の影響も受けにくいと、観察には好条件といえます。これから11月いっぱい観測の好機です。

火星は明るい対象なので、望遠鏡では思いきり倍率を上げて観察できます。表面の暗色模様は、写真などで見るよりずっと淡いので、辛抱強く眺めてみて下さい。

博物館では再接近直前の10月28日を皮切りに、11月中は毎週金曜日に「星を見る会」(19:00~20:30・参加自由・雨天曇天中止)で火星を眺めます。プラネタリウムでは10月8日~11月27日の間「火星接近!」をテーマに、模様が見やすい日などを解説します(投影日は土曜日11:00、14:00)。ご利用下さい。

博物館実習☆

9月7日(水)~14日(水)の7日間、21大学から22名の実習生を迎えて博物館実習が行われました。

講義、見学、資料整理実習、普及事業参加など短期間強行日程の仕上げに、寄贈品コーナーの展示「子どもと戦争」を企画・制作しました。

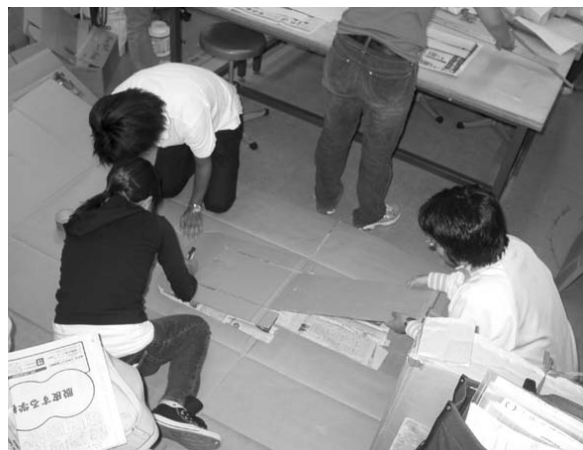
この展示は10月30日まで博物館1階展示室でご覧になれます。



「将来に活かしたい経験となった博物館実習」

実習生同士の個性や専門を活かしつつ様々な作業をするうちに、自分の視野の狭さを痛感し、地元と向き合う姿勢を正すきっかけになりました。来館者やボランティアさんをはじめとする地元の方々との交流は、平塚市博物館の地元根ざした活動を感じると共に、年齢を越えた関わりを持てる貴重な体験の場として、若い人が博物館との関わりを多く持てば地域活性に繋がるのではないかと感じました。職業としては難しいかもしれませんが、将来、地元で還元できるような活動を何かしていければと強く思いました。何よりも、こんなに楽しい実習があって良いのかというくらい、笑顔でいれた実習でした。お世話になった皆様に感謝するばかりです。

小出ひかる(酪農学園大学獣医公衆衛生学教室)



展示制作(ダンボールで戦時中の子どもの体格を作る)

博物館カレンダー

2005年10月の行事

10	2	日		古代遺跡を探す会	講堂
10	6	木	○	展示解説ボランティアの会	特研究室
10	7	金		古文書講読会	講堂
10	8	土	◎ ☆ ◎ ◎ ☆	漂着物を拾う会 秋期特別展「大地を巡る石の旅」(～11/20) 考古学入門講座 地質調査会 プラネタリウム「火星接近」(11/27)	虹ヶ浜・特研究室 特研究室 講堂 科学室 プラネ室
10	9	日	◎	水辺の楽校生きもの調べの会 民俗探訪会「鈴川と岡崎のまり」	水辺の楽校 岡崎
10	13	木		石仏を調べる会	岡崎
10	14	金		古文書講読会	講堂
10	15	土	○ ◎ ◎ ◎	自然の新聞を作る会 考古学入門講座 雑貨団朗読劇 文化公園ツアー	湘南平 講堂 プラネタリウム 文化公園
10	16	日	◎	相模川の生い立ちを探る会 ろばたばなし	野外 展示室
10	19	水		裏打ちの会 平塚社寺調査会	科学室 特研究室
10	20	木	○ ○	展示解説ボランティアの会 連続講座「相模川流域のなりたち」	特研究室 講堂
10	21	金		古文書講読会	講堂
10	22	土	◎	星まつりを調べる会 空襲と戦災を記録する会 地域史研究入門ゼミ 秋期特別展記念セミナー	科学室 特研究室 特研究室 講堂
10	23	日	○	プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ室
10	27	木	○	石仏を調べる会 連続講座「相模川流域のなりたち」	岡崎 講堂
10	28	金	◎	星を見る会「火星を見よう」 古文書講読会	屋上・科学室 講堂
10	29	土		天体観察会「天体写真」	月光天文台
10	30	日		地質調査会 天体観察会「天体写真」	野外 月光天文台

2005年11月の行事

11	2	水	☆	寄贈品コーナー地質(～/29)	展示室
11	3	木	○	連続講座「相模川流域のなりたち」	講堂
11	4	金	◎	星を見る会「火星」 古文書講読会	屋上・科学室 講堂
11	5	土	◎ ○	考古学入門講座 野外観察会「石ころのふるさとを探る」	講堂 屋外
11	6	日	◎	水辺の楽校生きもの調べの会 民俗探訪会	水辺の楽校 伊勢原
11	8	火	○	連続講座「相模川流域のなりたち」	講堂
11	10	木	○	展示解説ボランティアの会 石仏を調べる会	講堂 岡崎
11	11	金	◎	星を見る会「火星」 古文書講読会	屋上・科学室 講堂
11	12	土	◎ ◎	漂着物を拾う会 文化公園ツアー	虹ヶ浜 文化公園
11	13	日		古代遺跡を探す会 地質調査会	野外 科学室
11	16	水		裏打ちの会 平塚社寺調査会	科学室 特研究室
11	17	金	○	連続講座「相模川流域のなりたち」	講堂
11	18	金	◎	星を見る会「火星」 古文書講読会	屋上・科学室 講堂
11	19	土	◎	考古学入門講座 相模川の生い立ちを探る会	講堂 野外
11	20	日	◎ ○	ろばたばなし コケの観察会	展示室 文化公園
11	24	木		展示解説ボランティアの会 石仏を調べる会	講堂 特研究室
11	25	金	◎	星を見る会「火星」 古文書講読会	屋上・科学室 講堂
11	26	土		空襲と戦災を記録する会 地域史研究入門ゼミ 星まつりを調べる会	特研究室 講堂 野外
11	27	日	○	地質調査会 プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	野外 プラネ室

☆: 展示(無料)、プラネタリウム(観覧料)、○: 申込制、◎: 自由参加、無印: 年間会員制

<展示とプラネタリウム>

- ◎「火星接近！」
投影日: 10月8日(土)～11月27日(日)の土・日の午前11時と午後2時
観覧料: 100円(中学生以下無料)
- ◎「10月の天文現象」
投影日: 10月1日(土)午後2時
観覧料: 100円(中学生以下無料)
- ◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会「火星」
日時: 10月23日(日)午後3時30分～午後4時30分
参加: 自由参加(小学校高学年以上)
場所: プラネタリウム
- ◎雑貨団朗読劇「片～カケラ～」
星の王子様のストーリーを軸に、星めぐりの詩をちりばめた朗読劇を 演劇集団、雑貨団が行います。
日時: 10月15日午後6時～7時(5時30分開演)
会場: 博物館三階プラネタリウム室
申込み: 10月1日から電話(0463-33-5111)で受け付けます。(定員70人)
料金は無料
- <参加者募集>
◎漂着物を拾う会
海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。
日時: 10月8日(土)午前9時30分～11時
場所: 平塚虹ヶ浜海岸

- 参加: 自由(初めての方は往復はがきで申し込むこと)
- ◎自然の新聞を作る会
自然の観察をして、新聞にまとめます。
日時: 10月15日(土)午後1時～5時
場所: 湘南平付近
申込: 10月5日までに往復はがきで博物館へ
定員: 30名(応募多数の場合は抽選)
- ◎文化公園ツアー(美術館と共催)
文化公園の動植物の観察や石造物等を解説します。
日時: 10月15日(土)午前7時～8時30分
集合: 文化公園噴水前
参加: 自由参加
- ◎ろばたばなし
民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
日時: 10月16日(日)(1)午後1時20分～(2)午後3時～
場所: 展示室民家
- ◎入門考古学講座
今年度のテーマは「集落」
日時: 10月8日(土)・15日(土)、11月5日(土)・19日(土)の午後2時～4時
場所: 博物館講堂
参加: 自由参加
- ◎星を見る会
火星を観察します。
日時: 10月28日(金)午後7時～8時30分
参加: 自由参加

あなたと博物館 31巻7号 通算346号 発行 平塚市博物館 2500
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail: muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/